2018年度(平成30年度)事業計画

我が国を取り巻く国際情勢は、これまでの既成概念では測り切れない状況にあり、先の見通しが不透明で混迷しています。また、国内においては超高齢化の進展と少子化による人口減少に将来への不安が増しています。

そのような状況下において社会的経済負担を少しでも軽減するため、健康寿命の延伸を図り、介護期間を少しでも短縮する社会の実現が課題となっています。その延伸策の一つとして注目されている生涯スポーツが果たす役割は、以前にも増して重要となっています。

本連合においても会員すべてが日本陸連へ登録することにより、会員の競技力の向上 を図るとともに、マスターズ陸上の社会的地位の向上を目指します。

また、マスターズ陸上の世界においてもアンチ・ドーピング教育・啓発を進めるとともに、日本陸連が推進しようとしているウェルネス陸上の先進団体の一つとして連携・協力することにより、マスターズ陸上の一層の進展を図り、国民の健康増進に寄与することが、重要な役割となります。

そのため本連合は、以下に掲げる各事業に取り組みます。

1 生涯スポーツ社会の実現

本連合の会員の競技力向上を図るとともに、「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも」の生涯スポーツの実現を目指し、次の事業を行い社会的貢献に努めます。

(1) 全国大会の開催

- ① 全日本マスターズ陸上競技選手権大会(9月 鳥取)
- ② 都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝競走大会(11月 愛知)
- ③ 全日本マスターズ混成陸上競技選手権大会(重量・跳躍五種)(6月 神奈川)
- ④ " (十種、七種、五種競技)(10月 神奈川)
- ⑤ 全日本マスターズ競歩・マラソン選手権大会(10月 岩手)
- (2) 国際大会等への参加および参画
 - ①世界マスターズ陸上競技選手権大会への選手団派遣(9月 スペイン・マラガ)
 - ② 2 0 1 8 年国際ゴールドマスターズ大会への参画(10月 奈良)
 - ③2021年ワールドマスターズゲームズ大会への参画
- (3) 社会的貢献事業
 - ①陸上競技の普及啓発講習会の開催 年3か所

2 広報、マーケティング活動の充実

各種大会やイベントやホームページ等を利用して広報活動の展開やマーケッティング活動を通じて、会員の獲得、本連合のイメージアップを図ります。

- (1) ホームページの更新を迅速化し、会員サービスの向上と広報の充実
- (2) 広告代理店等企業と連携した効果的な広報活動
- (3) 栄章、表彰の充実
- (4) マスターズ大使の活用
- (5) 会報・記録集の発行

3 国際的活動

国際的にも元気な高齢者が増加しており、生涯スポーツの重要性が高まっています。 本連合では国際大会および国際会議に参加し、マスターズ陸上に関する国際情報の収 集と交流を推進します。

- (1) 国際大会への選手団派遣
- (2) 世界記録の申請事務
- (3) WMA, AMA等国際機関の会議への役員派遣

4 財政基盤の確立

現在の社会・経済状況下において国や地方公共団体からの助成金、企業からの協賛 金の支援も厳しいものがあり、平成28年度に会費を値上げしたものの本連合の財政 基盤はなお脆弱さからは脱却したとは言えません。また、日本陸連全員登録による会 員の負担増により、しばらくは会員減が予測されますが、事業を円滑に運営するため、 引き続き財源の確保に努める必要があります。

- (1) 新規会員の獲得
 - ①全日本マスターズマラソン大会の一般化により入会を誘引
 - ②公益目的事業の活動によるマスターズ陸上の知名度の向上
- (2) 公益社団法人としての活動
 - ①協賛企業の発掘の推進
 - ②公益目的事業の充実による認知度の向上
 - ③日本陸連への全員登録により、ウェルネス陸上への参画
 - ④調査、研究の支援、普及啓発の推進 ドーピング問題の対応の調査研究および普及啓発

5 業務運営・企画の効率化

マネージメント機能を強化し、事業の体系的な運営を図り、より一層業務の効率化、組織の活性化を図ります。

- (1) 専門委員会主導の事業運営・企画
- (2) 事務局体制の充実と人材の発掘
- (3) 各連盟の活性化のため地域ブロック連盟と連合との情報・意見交換会